

あしよる

広報

2012

NO. 711



- 農村ホームステイ
- 北海道遺産「螺湾ブキ」
- 食と地域の交流促進セミナー

農村ホームステイ

土とふれあい、人とつながり、農村と都市のささえあい

こんにちは。お久しぶりです。写真まで送っていたのに、お礼が遅くなってすみません。ファームステイでは迷惑をおかけしたと思いますが、私にとっては貴重な体験ばかりで、強く心に残っています。

特に、夜に星を見にドライブへ連れて行ってくださったことが嬉しかったです。大阪は外灯などの明かりが多くて星があまり見えないので、あんなに沢山の星を見たのは初めてでした。他にも、じゃがいもを掘ったり、牛を間近で見たりと、様々な体験をさせていただき、楽しい二日間を過ごすことが出来ました。

こうした体験を通じて、食料を作ることの大変さや食料自給の大切さなどを学ぶことが出来ました。北海道で学んだことはこれからの生活にも生かしていきたいです。ササガのおかげで有意義な時間を過ごすことが出来ました。

いつかまた北海道を訪れることがあれば、足寄町にも来たいです。

本当にありがとうございました！！

二〇二二年 二月 一八日

大阪府立布施高等学校

ササガ 由紀

農業を営む家庭に泊まりながら、一緒に農作業で汗を流し、農業について理解を深めてもらう「農村ホームステイ」が、今注目されています。

農村と都会が互いに支え合い、日本の「食」を守る新たな取り組みをご紹介します。

町内で農家民泊などのグリーン・ツーリズムを推進している「ちはるの里（あしよるグリーンツー研究会・王塚善一理事長、正会員20人）」では、3年前から農村ホームステイを受け入れています。昨年度は、関西からの修学旅行生をはじめ、モンゴルからの研修生や個人の参加者など、32人が農村ホームステイを体験しました。

都会から訪れた修学旅行生らに、普段のありのままの生活を体験してもらいながら、農業や食の大切さについて興味を持ってもらうとともに、人との触れ合いを通し、将来、足寄の応援団になってもらうことを期待しています。

農業を通して、都会の子どもたちに食べ物の大切さを伝えたい。

「都会の子どもたちは、自分たちが口にかけている野菜や肉が、どうやってできたのか、育てられたのか知らない。農家の人が、手を掛けて、心を込めて育てていることを知ってほしいと思った」

平成21年の設立当初から農村ホームステイを推進する団体「ちはるの里」の理事長を務める王塚善一氏は、活動を始めたきっかけをこう話してくれました。

滞在中、子どもたちは、学校や都会では学べない貴重な経験をします。「うちは和牛農家だから、牛の世話や鼻紋とり、牛舎の掃除などをしてもらっている」

都会では、手に入れることの難しい、採りたての野菜の味に驚き、野菜本来のおいしさに初めて気付く子どもたちがほとんど。ホームステイ初日には緊張気味の子も、最終日には「帰りたくない」と涙



王塚 善一
ちはるの里理事長

ぐむことも多いそうです。「子どもはみんな純粋。子どもたちが感動する姿を見ると、毎回受け入れてよかったと思う」と語ってくれました。

「この子たちにとって、足寄が特別な『まち』となり、将来、足寄産の農畜産物を選んでくれ、足寄の農業を支える存在になってくれれば」と期待を込めていました。

本年度も修学旅行生などの受け入れを予定しているとのこと。私たちは、子どもたちにいろいろな経験をさせる場を提供し、子どもたちからは元気をもらっている。私たちと一緒に活動していただける農業者の方は、ぜひご連絡を」と呼び掛けています。



ホームステイ先に届いたお礼の手紙をご紹介します。

農家体験のときは、お世話になりました。

連れて行ってもらった牛の所や山(?)は、今までテレビとかだけでしか見たことのない景色でした。牛は臭かったりしたので、ちょっと苦手でしたが(笑)

山は本当に感動しました。空気は気持ちいいし、広いし、馬と牛と鹿もいたり。360度どこを見ても『自然』って感じであふれてました。あんな景色は大阪はもちろん、北海道に来てモホテルとかに泊まっていたらなかなか見れないと思います。

釣りは結局釣れなかったけれど、一人じゃ絶対に入らないような所に入って行ったりして、なんかちょっと冒険気分を味わえました。釣りなんのできると思ってなかったの、うれしかったです。

畑では、シャドークイーンとかいう黒いジャガイモや

のすごくデカイズッキーニがあつて驚きました。黒いジャガイモもズッキーニも初めて見ました。まじびっくりです。ホエーはまずかったです(笑)

風食のときは、薪割りをさせてもらいました。多分一番おもしろかったです(笑)薪割りに熱中して、気がつけばイモしか食べる物がなかったけど、十分満足できるくらいおいしかったです。シャガバター嫌いだっただけど、好きになりました。

今思えば、農業らしい農業はしてないような気がします(笑)、ホテル組を選んでいたら絶対にできない体験ばかりで、珍しいものであふれてるし、本当にめちゃくちゃ楽しかったです。あと一週間くらい泊まりたかったです。

これからも元気で農業続けてください。シャドークイーン売ってたら買います(笑) 本当に短い間でしたが、本当に楽しかったです。本当にありがとうございました。

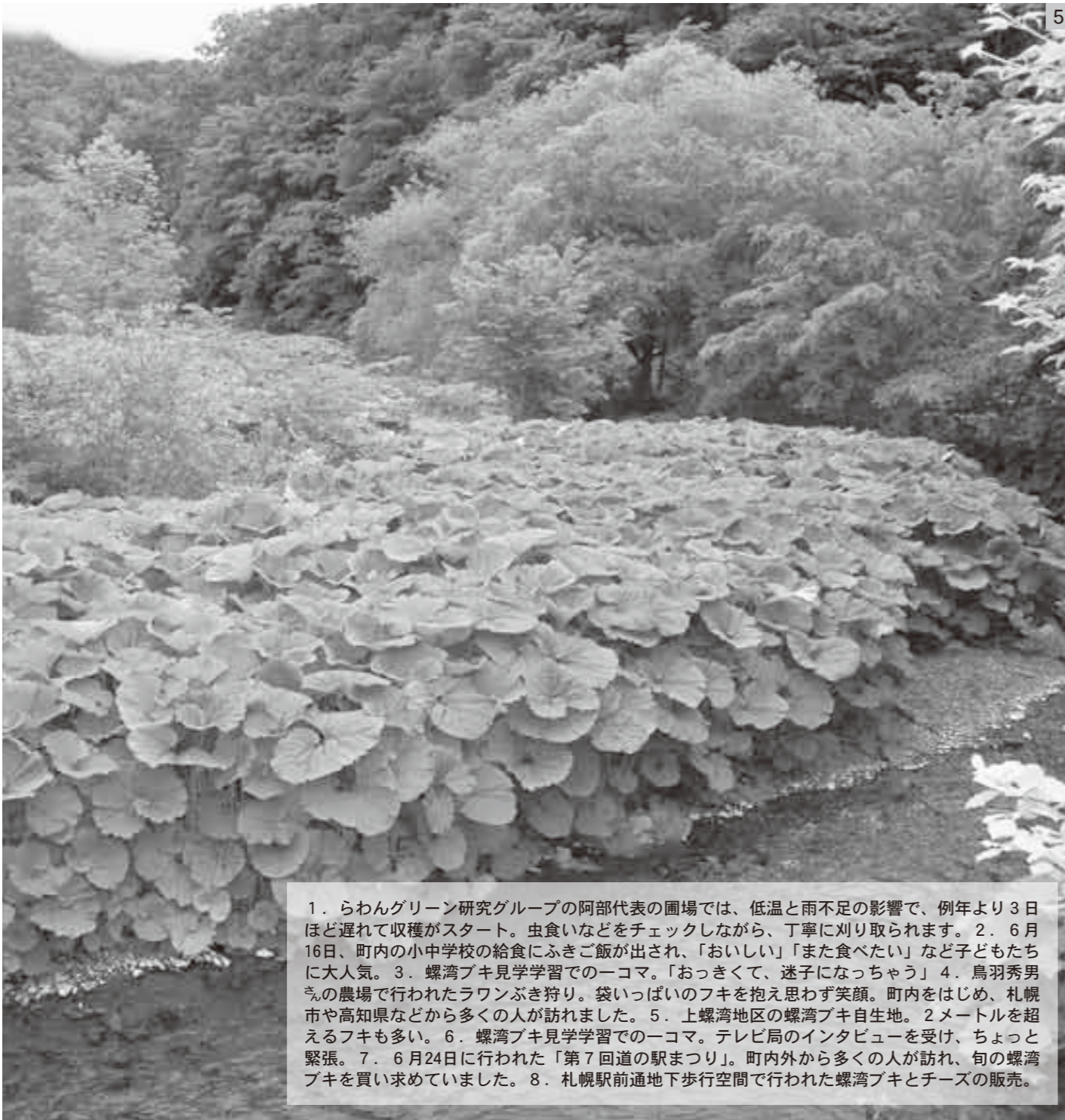
大阪府立富田林高校 H・S

農村ホームステイやちはるの里についての問い合わせは

ちはるの里事務局

☎ 25-12215 (横山 ぎ)

螺湾ブキは、今、注目度上昇中。



1. らわんグリーン研究グループの阿部代表の圃場では、低温と雨不足の影響で、例年より3日ほど遅れて収穫がスタート。虫食いなどをチェックしながら、丁寧に刈り取られます。2. 6月16日、町内の小中学校の給食にふきご飯が出され、「おいしい」「また食べたい」など子どもたちに大人気。3. 螺湾ブキ見学学習での一コマ。「おっきくて、迷子になっちゃう」4. 鳥羽秀男氏の農場で行われたラワンぶき狩り。袋いっぱいのお餅を抱え思わず笑顔。町内をはじめ、札幌市や高知県などから多くの方が訪れました。5. 上螺湾地区の螺湾ブキ自生地。2メートルを超えるブキも多い。6. 螺湾ブキ見学学習での一コマ。テレビ局のインタビューを受け、ちょっと緊張。7. 6月24日に行われた「第7回道の駅まつり」。町内外から多くの方が訪れ、旬の螺湾ブキを買い求めていました。8. 札幌駅前通地下歩行空間で行われた螺湾ブキとチーズの販売。

螺湾地区の自生地や、有機露地栽培に取り組んでいる各農場では、螺湾ブキの収穫が本格化しています。テレビや雑誌の取材班も数多く詰め掛けるなど、日本一大きな「螺湾ブキ」への関心がより高まっています。

らわんグリーン研究グループの阿部壽美雄代表の圃場では、6月23日から収穫を開始。収穫したブキは、新鮮なうちに全国各地に発送されます。

鳥羽秀男氏の農場で、6月22日に足寄小学校の2年生による螺湾ブキの見学学習が行われました。子どもたちは、螺湾ブキの説明を受けたり、スケッチをしたりして、地元の特産品について学びました。また、24日には「ラワンぶき狩り」が行われ、新鮮な螺湾ブキを求める人でにぎわいました。

JAあしよろでは、6月13日〜17日まで札幌駅前通地下歩行空間で螺湾ブキとチーズを販売。また、道内民放ラジオへの出演や、高橋はるみ知事を表敬訪問し、螺湾ブキをPRしました。

（この欄は上記の文章と重複する内容を含みます）





足寄高等学校 インターンシップ

足寄高等学校の2年生が町内の15事業所で職業体験を行いました。役場を訪れた5人の生徒に取材から原稿執筆まで広報作りを体験してもらいました。彼らが作った介護予防事業とインターンシップについての記事を紹介し

この日常をいつまでも
役場福祉課では、高齢者の方が足寄で自分らしい生活を維持していただけるように、介護予防の一環として、さまざまな活動を行っています。例えば、健康状態アンケート（基本チェックリスト）の配布や重点地区への家庭訪問、老人クラブなどでの健康相談等です。
今回私たちが行った「相和老人クラブ（神本三也会長）では、健康状態アンケートや相談のほか、握力測定や片足立ち、歩行速度などの体力測定を行っています。
これらを行っていた方たちにはインタビューをしました。まず、健康に関して日々どのようなことに気を付けているかお聞きしたところ、曾根静子は「毎日、農作業をしています」と答えてくれました。曾根氏は、半世紀以上もの間、続けているそうです。これが健康の秘訣で「これからも、生涯現役でやっていきたい」

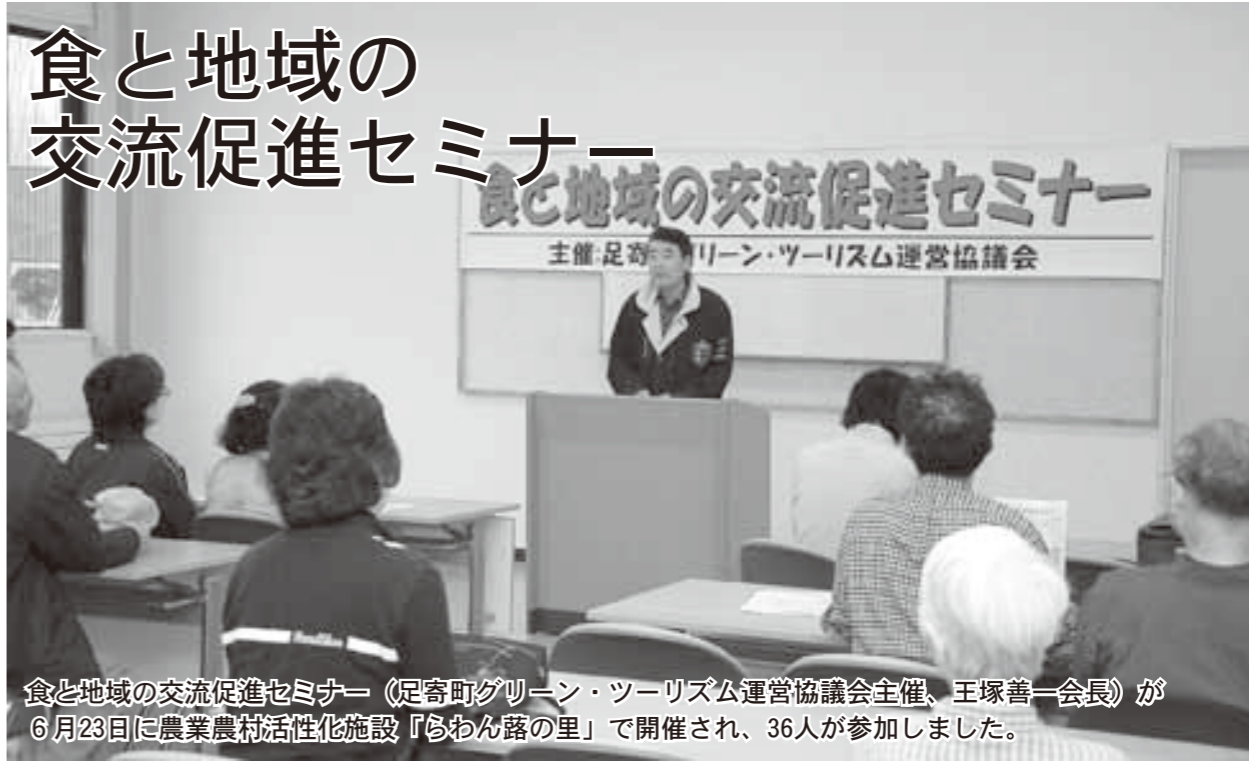
と語ってくれました。
また、菅原眞一氏は、野菜作りや好き嫌いのない食事を心掛けていることのほかにも、散歩で何と3キロメートルもの距離を歩いていると話してくれました。他の方も食事や運動をして健康を保っているとのことでした。
役場福祉課総合支援相談室では、「高齢者に関する相談がある際には、いつでもお伺いします」とのことでした。
（佐々木智広・畠大介）



頑張った職業体験
足寄高等学校（佐藤振一郎校長）の2年生39人は、6月20日から21日の2日間にわたり、町内の各事業所で職業体験を行いました。
役場の仕事を体験して
私たち5人は、役場で職業体験をしました。役場を選んだ理由は、公務員という仕事に興味があり、普段、役場ではどんな仕事をしているのかと思ったからです。
最初に役場の中を案内してもらいました。役場では、ペレットストーブを使っています。ペレットとは、おが粉などを圧縮したもので、木材として使えない部分を利用してあるので環境にとってもいいです。
次に相和生活改善センターに行きました。そこで、相和老人クラブの定例会に参加させていただき、取材しました。老人クラブで行われた健康相談を取材した佐々木君と畠君に話を聞きました。



畠君は「緊張していたけれど、皆さんと話しているうちに元気になった」そうです。佐々木君も初めは不安だったそうですが「取材にいろいろと答えてもらって、うれしかった」そうです。
また、皆さんは足寄高校の存続を願ってくれていたのですね、うれしかったです。
今回のインターンシップで、仕事は大変なこともいろいろあることが分かり、将来仕事をするときには、責任を持つような大人になりたいと思いました。
（松野佑輔・辻貴弘・岡田侑磨）



食と地域の交流促進セミナー（足寄町グリーン・ツーリズム運営協議会主催、王塚善一会長）が6月23日に農業農村活性化施設「らわん路の里」で開催され、36人が参加しました。

町グリーン・ツーリズム運営協議会は、農村と都市との交流をより推し進めようと、5月16日に町内14の団体や企業により設立された会で、「食」で地域の活性化や振興を図ることを目的としています。
今回は、螺湾ブキと牛肉、乳製品を使った新たなメニューを開発し、生産と消費の拡大に結び付けることを目指しています。
螺湾ブキ刈りと試食会
午前中、参加者はあじろグリーン研究グループの阿部壽美雄代表の圃場で、螺湾ブキの刈り取りを体験しました。
試食会では、螺湾ブキやチーズなどを使った新メニュー32品が提供され、参加者から「ブキの色と香りが生きている」「あっさりしていて、とてもおいしい」との声が聞か



れました。同協議会では参加者からアンケートを取り、今後の商品化や新メニュー化の可能性を検討しています。
シンポジウム
元帯広畜産大学教授の関川三男氏による基調報告が行われました。
関川氏は、足寄町の資源は、螺湾ブキと牛乳や牛肉、そして森林だと指摘。「螺湾ブキ一つとっても、町内外でいろいろなイベントや事業が行われているが、町民や地域の人も全て把握しきれていない。資源を活用し、地域を活性化させるためには、情報の共有



が重要」と話しました。
また、道東自動車道の開通により、札幌圏との交流人口が増加している今がチャンスと語り、「地域を元気にするのは結局『人』。景気・人気・病気など、『気』は人間の気持ちを表す。地域で元気に活動することが大事。それを忘れないければ、きっと地域は発展します」と結びました。
続いて、同協議会に加盟する団体が活動状況を報告したほか、帯広市内の食品会社からは、新メニューの提案がありました。
パネルディスカッションでは、参加者から「螺湾ブキの盗伐が後を絶たない。保護対策により一層取り組むべきでは」などの意見が出されました。
基調報告をする関川さん





6.6 交通安全を祈って

函館市在住の森久子さん（93歳）から、交通安全を祈願して作ったつまようじ入れ（750個）が届きました。森さんは、子どものころに足寄町に住んでいたことが縁で、5年前から毎年、寄贈してくれています。つまようじ入れは、町の交通安全キャンペーンなどで、ドライバーに手渡されます。



6.7 無理せず体力アップ

「元気アップ！運動教室（町教育委員会主催）」が陸上競技場で行われ、38人が参加しました。6月は全4回にわたり、2本のポールを使って歩く「ノルディックウォーキング」にチャレンジしました。初回は、陸上競技場周辺や里見が丘公園フラワー園を1時間かけて歩き、心地よい汗を流していました。



6.15 花で道路を彩る

足寄町まちづくり女性ネットワークと駅前通り商店会が、あしよろ銀河ホール21から両国橋までの歩道にベゴニアやアリッサムの苗を植え付けました。これは、道開発局のボランティア・サポート・プログラムに参加しているもので、訪れた観光客や歩行者の目を楽しませています。



6.22 町をよくするために

足寄高等学校（佐藤振一郎校長）の生徒が、ごみ拾い活動と交通安全運動を行いました。1年生と2年生は、通学路や市街地のごみ拾いを行ったほか、3年生は国道241号線沿いで、ドライバーに「安全運転よろしくお願ひします」と伝えながら、パンフレットなどを手渡し、交通安全を呼び掛けました。

写真をご希望の方は広報広聴担当まで



5.30 楽しく英語を学ぼう

町国際交流員のイアン・ラスカウスキーさんが講師を務める英会話教室「イアンと英会話！（町教育委員会ほか主催、全4回）」が町民センターで開催され、初級コースには9人、中級コースには11人が参加しました。参加者は、ゲームやクイズなどで英単語や発音、会話を続けるためのポイント等を学びました。



6.1 人権の花を贈呈

足寄保育園どんぐり（寺田幸子園長）で人権の花の贈呈式が行われ、マリーゴールドの苗120株などが贈られました。人権擁護委員を代表し國見勲さんが「困っている人がいたら、助けてあげてください」とあいさつしました。贈られた花は、子どもセンターに隣接する畑に植えられ、大切に育てられます。



6.6 親睦を深める

高齢者学級のふるさと足寄100年塾「学遊会」と「生きがいスクール」合同の大運動会が、里見が丘公園陸上競技場で開かれ、51人が参加しました。参加者は、2チームに分かれ、「コーンを移動せよ！」「大金持ち」など5種目の競技で汗を流した後、昼食を取りながら参加者相互の親睦を深めていました。



6.6 上手に泳げるように

水泳少年団に未加入の小学1年生から3年生を対象にかっぱ水泳教室（町教育委員会主催、水泳協会協力、全6回）が温水プールで開かれ、32人が参加しました。子どもたちは学年ごとに分かれ、早速練習を開始。まだ上手に泳げない1年生は、水に慣れる練習やバタ足の練習など水泳の基本を学びました。

運動会

町内各小学校で運動会が開催され、児童たちはこの日のために積み重ねた練習の成果を披露しました。応援に駆け付けた保護者からは大きな歓声が上がっていました。



- ①足寄小学校 6月2日
「笑顔と絆で最後まで走りぬける!!」
- ②大誉地小学校・上利別保育所 6月9日
「一人一人が力を合わせて頑張れば優勝は目の前に!」
- ③芽登小学校・芽登保育所 6月9日
「最後まで全力でかけぬける!!」
- ④螺湾小学校・螺湾保育所 6月9日
「チームの絆でキセキをおこせ!」



家畜品評会

6月16日、第53回足寄町家畜品評会（足寄町農業協同組合主催）が愛冠の農協畜産センターで開催され、日頃丹精込めて育てた自慢の家畜が出陳されました。



肉用牛の部
6部門に74頭が出陳され、佐藤耕一さん（芽登）の「やすこ2111」が最高位賞を受賞しました。



乳用牛の部
2部門に11頭が出陳され、梅田知宜さん（大誉地）の「フレンドユー レッドライナー リアン R ED」が最高位賞を受賞しました。



馬の部
2部門に12頭が出陳され、只野幸一さん（上足寄）の「拓美」が最高位賞を受賞しました。



国・道からのお願いです 節電にご協力ください

今夏、北海道電力管内では電力不足が懸念されています。電力の安定供給のために、特に需給が厳しい期間・時間帯において、一昨年比7%以上の節電が必要となります。ご家庭や事業所で、無理のない範囲で、節電にご協力をお願いします。

節電をお願いしたい期間・時間帯・量

- ・7月23日(月)～9月7日(金)
※お盆(8月13日～15日)期間を除く。
平日、午前9時から午後8時
- ・9月10日(月)～9月14日(金)
午後5時～8時
- ・7%以上の節電にご協力をお願いします。
※一昨年の実績との比較
特に家庭においては、電気の使用が増える夕方以降(午後6時～8時)の時間帯のご協力をお願いします。

節電にご協力いただきたい電化製品

照明、冷蔵庫、テレビなどを中心に、普段からお使いの電化製品について節電のご協力をお願いします。また、外出の際には待機電力等の削減もお願いします。
ご家庭において夏の20時ごろ、在宅世帯では平均で約700Wの電力を消費しており、照明、冷蔵庫、テレビで約7割を占めています。
外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約200Wの電力を消費しています。

家庭での具体的な節電方法の一部を紹介します

普段お使いの機器の使い方を工夫していただき、節電にご協力ください。

照明
〈機器の定格消費電力の目安〉
白熱灯 54W
電球型蛍光灯 12W

- ・日中は消灯してください。
- ・夜間も不要な照明は消灯しましょう。
- ・照明のかさやカバーをこまめに掃除しましょう。

冷蔵庫
〈機器の定格消費電力の目安〉
200W～300W

- ・冷蔵庫の温度設定を控えめ(「中」や「弱」など)にしましょう。
- ・扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。

テレビ
〈機器の定格消費電力の目安〉
液晶テレビ 50W～150W

- ・画面の明るさを抑え、省エネモードに設定しましょう。
- ・見ていないときはこまめに主電源で消しましょう。

その他

- ・長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜きましょう。
- ・省エネ型機器への買い替えも効果的です。ご購入の際には、省エネラベルの星の数を参考にしてください。

役場庁舎や公共施設でも、節電に取り組んでいます!

役場庁舎や各公共施設では、現在照明の一部を消灯するなど、節電対策に取り組んでいます。町民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

ご存じですか？ 児童扶養手当・特別児童扶養手当

特別児童扶養手当

障がい児の福祉の増進を図るため、精神または身体に中度以上の障がいがある児童を育てている家庭に支給されます。

【支給対象】

精神や身体に障がいのある20歳未満の児童の父、母、または父母に代わってその児童を養育している方

※手当には、児童の障がいの状態によって1級と2級があります。

【支給月額】

1級 50,400円
2級 33,570円

【支給月】

4月、8月、11月

児童扶養手当

両親の離婚などにより、父（母）親と一緒に生活していない母子（父子）家庭の生活の安定と自立を助け、児童の心身の健やかな成長のために支給されます。

【支給対象】

18歳までの児童（18歳に到達した日以降の最初の3月31日までの間にある者）を扶養している母（父）や、母（父）に代わってその児童を扶養している方

【支給月額】 ※児童1人の場合

全額支給 41,430円
一部支給 41,420円～9,780円
※養育者の所得により異なります。

2人目の児童は月額5,000円、3人目以降の場合は1人当たり月額3,000円が加算されます。

【支給月】

4月、8月、12月

【注意事項】

- 各手当には、所得制限が設けられています。受給者本人または同居親族の所得が限度額を超えた場合、支給が停止されます。
- 昨年度、所得制限で受給できなかった方でも、平成24年度（平成23年分）所得により、受給できる場合があります。

！ 現況届の提出が必要です

児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給している方は、現況届の提出が必要です。7月下旬以降にご案内をお送りしますので、忘れずに提出してください。

期限までに提出されない場合、手当が受けられなくなりますのでご注意ください。

詳細 福祉課保健福祉室福祉担当 ☎25-2141内線144



1. お尻をつねられた

昨年末、日本漢字能力検定協会は2011年を代表する漢字として「絆」を発表しました。東日本大震災で被災された方はもちろんですが、大切な人との絆を見つめ直した方も多かったですと思います。また、昨年注目を浴びた言葉の一つに「想定外」があります。震災から1年以上経過した現在、冷静になつて振り返ってみると、今回の災害は想定外と思っていたことが想定外ではないことをみんなに知らせる意味で、神様にお尻をつねられたようなものではないかと思つたかと思つています。しかし、そのことを自覚するために、私たちはあまりに大きな代償を払うこととなりました。

2. 釜石の奇跡は、釜石での軌跡

想定外という言葉が住民避難に直結したケースとして、津波ハザードマップによる避難区域があります。津波ハザードマップは津波の高さを想定し作成されたものです。しかし、住民は想定された避難区域のみが正しいと信じ行動しました。また一方では、周囲のみんなが避難しないので自分も避難しないという状況も見られました。避難の基本は、ハザードマップにとらわれず、自らの命を守る主体性を発揮し行動することであり、適切な避難のためには継続的な防災教育と訓練が必要であることが明らかとなったのです。

今回の震災において津波避難と防災教育の重要性を示す画期的な事例があります。それは岩手県釜石市の小・中学生による避難、いわゆる「釜石の奇跡」です。しかし、釜石市で長く防災教育を指導してきた群馬大学片田教授は、釜石の「奇跡」ではなく釜石の「軌跡（プロセス）」として、これまでの防災教育の継続的な取り組みとして捉えるべきだと語っています。また、中学生以上には、もはや助けられる立場ではなく、助ける立場であることを認識させることが重要であるとも指摘しています。中学生自らが小学生の手を

3. 災害は弱いものいじめ

災害は弱いものいじめです。災害は弱い場所や弱い人をいち早く見つけ、一気に襲ってきます。災害時に弱い人とは、高齢の方や体に障がいを持つている方など、避難時に援護を必要とする人です。また、正確な情報を上手に受け取ることができない人、例えば外からの来訪者も災害時の弱者と呼べるかもしれません。ところが、一般的に災害時には、早く正確な情報を期待することはできません。そのため、少ない情報から想像力を最大限発揮して、釜石の中学生のように行動する必要があるのです。そのための基礎となるのが、災害に対する正確な知識と日頃からの訓練です。これは釜石の奇跡で見事に証明されました。

4. 火山サミットイン雌阿寒岳の開催に向け

日本に住んでいる限り自然災害に遭遇する可能性があり、防災を意識し行動することは必要です。一方、自然は



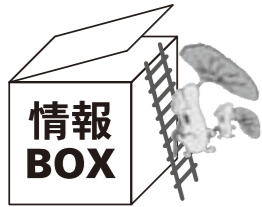
自ら書き込みながら津波ハザードマップを作成している釜石市の中学生
(引用：群馬大学片田研究室ホームページ)

私たちに大きな恵みも与えてくれます。ですから、火山の近くに住む者にとっては、火山防災を学び行動することは、身に付けておくべき生活における一つの「作法」なのです。

「火山を知り、地域に目を向け、人とつながる」

今回開催される火山サミットイン雌阿寒岳は、火山防災を大いに語り、大いに学ぶことができるまたとない機会です。

詳細 役場総務課企画財政室
☎25-2141内線311
(北見工業大学 教授 高橋 清)



お知らせ

7月は、不正軽油防止強化月間です

「不正軽油」とは、軽油に重油や灯油を混ぜたり、灯油や重油から軽油を製造したりしたものなどをいい、これらを販売・使用することは、脱税行為であり悪質な犯罪です。また、排気ガス中の窒素酸化物を増加させ、大気汚染の原因となります。

道では7月を「不正軽油防止強化月間」として、不正軽油撲滅に向けて関係機関と連携し、軽油の抜き取り調査等をさらに強化します。不正軽油の話を知りたり、見たりした時は、ご連絡ください。

不正軽油ストップ110番
☎0800-8002-110
詳細 十勝総合振興局
地域政策部課税課事業税問税係
☎0155-27-8510

道政への苦情は 北海道苦情審査委員へ

道政への苦情がある場合は「苦情審査委員」に申し立てることができます。苦情審査委員が皆さんに代わって、中立な立場で道の機関に対し必要な調査等を行います。審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、道の機関に是正や改善を求めます。

なお、個人情報の保護には十分に配慮します。

申し立て方法
所定の苦情申立書に必要事項を記入し、提出（郵送、FAX、メール）してください。

詳細
・道総合政策部道政相談センター
☎011-204-5022
FAX011-241-8181
✉kujyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp
・十勝総合振興局道政相談室
☎0155-26-9017

特定疾患医療受給者証有効期間の更新申請について

特定疾患医療受給者証（桃・白色）およびウイルス性肝炎医療受給者証（緑色）・ウイルス性肝炎（肝炎治療特別促進事業）医療受給者証（水色※核酸アナログ治療者のみ）の更新受け付けが始まります。有効期間が平成24年9月30日までとなっている方は、帯広保健所および本別支所で9月30日までに手続きをしてください。

詳細 帯広保健所
子ども・健康推進課保健予防係
☎0155-27-8637

**善意のご寄附・ご寄贈
ありがとうございます**
町へ
・石井節子さん（大誉地）から
福祉の推進のために
5万円

本別から

第27回樽生ビア一彩

夏と言えばビール！役場前駐車場にはたくさんの屋台が並ぶほか、特設ステージではバンド演奏や豪華景品が当たる抽選会などが行われます。ビールを飲んだり食事をしたり楽しい夜を過ごしませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 7月28日(土)午後4時～
場所 役場前駐車場
内容 アフリカ太鼓「十勝N'barafa」演奏、前売り抽選会ほか
※抽選会の抽選券は、ビール前売り券に付いています。

ビール前売り券
1,100円（3杯）
※当日は1杯400円です。
※今年はチューハイも同じ金額で用意しています。

詳細およびビール前売り券取り扱い
本別町商工会 ☎22-2529

陸別から

第4回ふるさと銀河線 りくべつ鉄道まつり

日時 7月22日(日) 午前10時から
場所 りくべつ鉄道駅構内、駅前多目的広場
内容 お笑いショー、バルーンアート、銀河線縁日、しばれ君のふわふわドーム、陸小ソーラン踊りなど

※この他にもたくさんのイベントを用意していますので、皆さんのご来場をお待ちしています。

「甦るふるさと銀河線」～特別列車運行!!
銀河コース（1.6km）の体験乗車が、鉄道まつり当日、午前10時、11時、正午、午後1時、2時の5回限定で運行されます。
中学生以上500円、小学生300円、幼児無料

詳細 陸別町観光協会事務局
☎27-2141

足

寄町では、森林からの湧水が水道水の水源として広く利用されています。

自然探訪

第80回『水源の森』

（九州大学北海道演習林林長 久米篤）



水源の感触を確かめる

森林域からの水は、一般に良質な水でも安定しているから広く利用されています。しかし残念ながら、このような水源は湧水量に限りがあるため、大規模な水道に利用するには難しいことが多いです。火山灰が厚く積り、大規模な森林に隣接した足寄町の市街地帯は、森林の良い水源を利用する上で非常に恵まれた環境にあり、「緑のダム」を有効に利用しています。日本の上水道全体ではその水量の約20%を地下水から、約80%を河川などの地表水から得ていますが、河川や地下水の

汚染、地下水の過剰利用に伴う地盤沈下などの問題から、現在では半分近くが人工ダムから供給されています。これは、ヨーロッパなど降水量の少ない大陸地域で、地下水が広く利用されているのは大きく異なっています。地下水は、一度汚染されると浄化することが非常に難しいため、水源地域の植生は手厚く保護管理がなされています。いずれの水源においても、森林の存在が水源の質的・量的な向上に大きく寄与していることは、森と水の強い結びつきを示しています。

詳細 九州大学北海道演習林
☎2512608

平成22年税制改正において16歳未満の扶養親族の扶養控除および16歳以上19歳未満の特定扶養親族控除が廃止されました。

しかし、国民年金制度においては「国民年金保険料の免除基準」「障害基礎年金等の所得制限額」について影響がないよう16歳未満の扶養親族及び16歳以上19歳未満の扶養親族についてこれまでと同じように扶養親族控除額に計上することになりました。

これに伴い、平成24年7月から国民年金保険料の免除を申請する際には前年の12月末日現在16歳以上19歳未満の扶養親族がある場合について「扶養親族に関する申立書」を添付することになります。なお、この申立書は各市町村の年金窓口又は年金事務所に備え付けてあります。

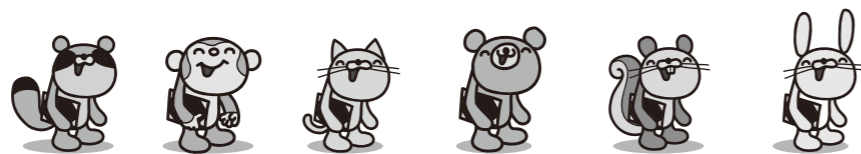
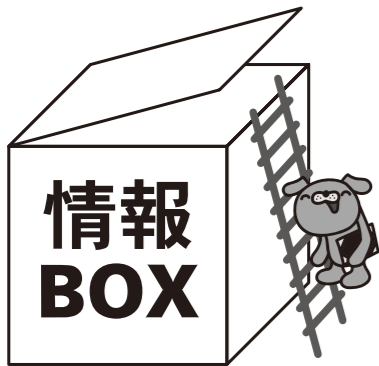
詳細 帯広年金事務所
☎015512518113
役場住民課戸籍年金担当
☎2512141内線211

平成22年税制改正前後の扶養控除

扶養親族の年齢	改正前 (平成22年分まで適用)		改正後 (平成23年分から適用)	
	扶養親族の区分	扶養控除の額	扶養親族の区分	扶養控除の額
0歳～15歳	扶養親族	38万円	控除対象外	
16歳～18歳	特定扶養親族	63万円	扶養親族	38万円
19歳～22歳			特定扶養親族	63万円
23歳～69歳	扶養親族	38万円	扶養親族	38万円
70歳～	老人扶養親族	48万円	老人扶養親族	48万円

※国民年金制度では網掛け部分を改正前と同じように控除額に計上することになります。

みんなの国民年金
保険料免除申請が一部変更になります！



募 集

十勝町村職員採用資格試験 受験者募集

職務内容 一般行政事務

試験区分

- ①上級（大学卒業程度の学力）
- ②初級（高校卒業程度の学力）

受験資格

- ①昭和57年4月2日～平成3年4月1日生まれの方
- ②平成3年4月2日～平成7年4月1日生まれの方

※ただし日本の国籍を有しない方または地方公務員法第16条の各号のいずれかに該当する方は受験できません。

試験方法

- ①教養試験、論文
- ②教養試験、作文

採用予定数 ①33人 ②9人

受付期間 8月1日(木)まで

試験日 9月29日(土)

試験場所 とかち館

(帯広市西7条南6丁目2)

受験案内等の請求

受験案内、申込用紙は十勝町村会事務局または役場総務課総務室職員担当窓口に請求してください。なお郵送を希望する場合は、「試験申込書請求」と朱書きした往信用封筒に、切手を貼った宛先明記の返信用封筒を同封して請求してください。

請求先・詳細 〒080-8588

帯広市東3条南3丁目

十勝町村会事務局

(十勝総合振興局内)

☎0155-23-6204

役場総務課総務室職員担当

☎25-2141内線323

自衛官募集

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
航空学生	高卒(見込みも含む) 21歳未満	8月1日～9月7日	1次 9月22日 2次 10月中旬
一般曹候補生	18歳以上27歳未満		1次 9月17日 2次 10月4日～11日
自衛官候補生		試験日の前日まで	男子 7月22日 8月26日 9月28日 9月29日 9月30日 11月20日 12月9日
			8月1日～9月7日

自衛隊帯広地方協力本部ホームページアドレス

<http://www.mod.go.jp/pco/obihiro/>

詳細

自衛隊帯広募集案内所 ☎0155-23-8718

お知らせ

国民健康保険高齢受給者証の更新について

国民健康保険に加入している70歳以上75歳未満の方に現在交付している「国民健康保険高齢受給者証」は、平成24年7月31日をもって有効期限が満了になります。

8月1日から使用できる新しい受給者証は、7月末までにご自宅に郵送しますので、受給者証が届きましたら必ず住所、氏名、生年月日等の記載事項を確認してください。

※期限切れで無効となった受給者証は、返還の必要はありませんので、各自で破棄してください。※住民税の課税所得状況により、負担割合が変更となる場合があります。

詳細

役場住民課住民室保険担当

☎25-2141内線215

家屋実地調査にご協力を

今年、家屋（車庫・物置を含む）を新築・増築・改築した方を対象に、家屋の実地調査を行っています。この調査は、固定資産税の評価額を算出するために、家屋の間取りや使用資材を見せていただくものです。また、家屋や土地の課税漏れや軽減措置の適用が正しくされているか固定資産評価補助員が実地調査を行っています。皆様のご協力をお願いします。

詳細 住民課税務室課税担当

☎25-2141内線233

サマージャンボ宝くじ

サマージャンボ宝くじが発売中です。賞金額は、1等・前後賞合わせて5億円、2等は500万円です。この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

発売期間 7月27日(金)まで

抽せん日 8月7日(火)

乳がん・子宮がん検診

日時 9月5日(水)、6日(木) 午前8時～正午（時間予約制）

場所 町民センター

対象者 今年の検診を受診していない方

○乳がん 40歳以上の女性（先着80人）

○子宮がん 頸部 20歳以上の女性（先着80人）

婦人科エコー 頸部受診者のうち、希望される方

体部 頸部受診者のうち、当日の問診時に必要と思われる方

料金

○乳がん 50歳未満（X線検査2方向撮影）3,200円

50歳以上（X線検査1方向撮影）2,700円

○子宮がん

頸部2,300円、婦人科エコー1,050円、体部1,300円

※生活保護世帯の方は無料です。

申込期限 8月10日(金) 午後5時まで

歯周疾患検診

受診期間 平成25年3月30日(土)まで

受診場所 あしよろ歯科、足寄ファミリー歯科、中原歯科

対象者 35～70歳までの町民

料金 700円（直接、歯科医院にお支払いください）

※生活保護世帯の方は無料です。

申込期間 随時

各検診の申込先・詳細

役場福祉課保健福祉室保健推進担当 ☎25-2571

毎月第3火曜日は 定例行政相談会の日

国の仕事に関する苦情や意見等を受け付ける定例行政相談会を7月から毎月1回開催します。

日時 毎月第3火曜日

午後1時30分～3時

※詳しくは、くらしのカレンダーでご確認ください。

場所 足寄町社会福祉協議会事務所

詳細 役場総務課総務室

広報広聴担当

☎25-2141内線335

所得税（予定納税）の 納付をお忘れなく

予定納税とは前年分の所得税の確定申告に基づき計算した予定納税基準額が15万円以上である場合に、原則その3分の1相当額をそれぞれ7月と11月に納付する制度です。予定納税が必要な方には、税務署から「予定納税額の通知書」が送付されますので、忘れずに納付するようお願いします。

納期限 7月31日(火)

詳細 十勝池田税務署

☎015-527-2171

エコ活動に参加しませんか？ エコ・アクション・ポイント クラブ会員募集中

北海道エコ・アクション・ポイントクラブは、エコ活動に参加するとポイントが貯まる環境ポイントプログラムです。現在、会員（先着600人）を募集しています。会員受け付けは、役場経済課窓口で随時行っています。

実施期間 12月15日(土)まで

ポイント獲得イベント

・「芽登温泉」の入浴利用

5ポイント／1回

・リサイクル活動への協力

5ポイント／1回

※コープさっぽろが提供する宅配サービスの一環として実施するリサイクル活動

・ペレット購入 2ポイント/1袋

・その他 下川町・滝川町・美幌町での温泉入浴など

※今後、メニューが追加されることがあります。

※全押印欄（20面）すべてが押印されたスタンプカードは、足寄町商工会までお持ちください。

町内の商店で利用可能な商工会商品券（500円）にお取り換えします。

※この事業は、(財)北海道環境財団および(株)ジェーシービーが実施するもので、足寄町は「北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会」を通して協力しています。

北海道エコ・アクション・ポイントホームページアドレス

<http://www.heco-spc.or.jp/eap>

詳細 役場経済課

地域資源エネルギー担当

☎25-2141内線252

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室広報広聴担当まで

畑 美羽弥^{みはやみ}ちゃん

(平成22年7月10日生まれ)
仕事から帰ってきたら走って
迎えに来てくれる美羽弥ちゃん。
毎日のようにお姉ちゃんとけん
かをして泣いたりするけれど、
これからも仲良くしてね。

健太郎・富美子^{とみこ}ちゃんの子
(北3条2丁目)



加地 康太郎^{こうたろう}ちゃん

(平成22年7月27日生まれ)
お散歩大好き康太郎。愛嬌た
っぷりで、人見知りもしないので、
どこへ行ってもすぐにお友
達ができます。4月に生まれた
弟とも仲良くしてね。

曜・和音^{わね}ちゃんの子
(里見が丘)

浅岡 心晴^{こはる}ちゃん

(平成22年8月20日生まれ)
歌や踊りが大好きな我が家の
元気娘です。毎日かわいいいた
ずらで家族みんなを和ませてく
れます。これからも元気で優し
い子に育ってね。

晃昭・佳史子^{よしこ}ちゃんの子
(南4条5丁目)



ひとのうごき

6月末の住民基本台帳

人 口	7, 5 9 6 人 (-7)
男	3, 6 7 7 人 (-2)
女	3, 9 1 9 人 (-5)
世 帯	3, 5 8 6 世帯 (-2)

() 内は前月比

今月の表紙

6月2日に行われた「第13回足寄小学校大
運動会」でのスナップです。

(⇒11ページ)

広報あしよろ7月号 No.7 1 1

発 行：足寄町
編 集：総務課総務室 ☎25-2141 内線335
〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1
<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>

編集後記

☆6月は螺湾ブキ関連の取材がめじろ
押しで、北海道遺産を身近に感じる
月でした。
☆鳥羽農場で行われた足寄小学校の青
空教室でのこと。『フキは株分けをし
て増やす』『収穫できるようになる
までに3年かかる』など、私にとっ
ても知らないことがたくさんでした。
☆帰って早速、得意げに子どもたちに
話すと、「そんなこと知ってるよ」
とつれない返事。ところが、それを
聞いていた妻が「フキノトウとフキ
は同じ植物なの!？」とかなり驚いて
いました。
☆子が親を超えた、と感じた瞬間でし
た。